



JASDAQ

平成 23 年 9 月 30 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 毅
(J A S D A Q ・ コード 7746)
問合せ先 執行役員総務人事部長 秋山 仁志
電 話 04-7137-3111

特定子会社の異動、特別利益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において当社特定子会社である岡本光学科技(蘇州)有限公司の全出資持分を晶光国際有限公司に譲渡することを決議したこと、連結決算において特別利益が発生したこと及び業績予想の修正をお知らせいたします。

記

I. 特定子会社の異動

1. 異動の理由

岡本光学科技(蘇州)有限公司は、リアプロジェクションテレビ向けのガラス基板の成膜を行い、中国国内の顧客に反射鏡として納入していましたが、リアプロジェクションテレビ市場の衰退を受けて、同社は成膜事業から撤退いたしました。

生産拠点の集約のため、同社の主要な生産設備を新潟岡本硝子株式会社に移設するとともに、建物及び土地使用権の売却も完了したことで、同社の清算又は全出資持分の譲渡をすべく関係各所と交渉しておりましたが、今般、晶光国際有限公司へ全出資持分を譲渡いたしました。

2. 異動の方法

当社と晶光国際有限公司の間で締結した持分譲渡契約に基づき、中国政府関係当局の批准日に、岡本硝子株式会社が有する岡本光学科技(蘇州)有限公司の全部の持分の譲渡が発効いたします。

なお、本日、中国政府関係当局の批准をもって譲渡が発効いたしました。

譲渡代金は現金決済を予定しております。

3. 譲渡会社の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 商号 | 岡本光学科技(蘇州)有限公司 |
| (2) 本店所在地 | 中国江蘇省蘇州工業園区 |
| (3) 董事長 | 岡本 毅 |
| (4) 事業内容 | プロジェクター用反射鏡ガラス基板への成膜
(既に生産設備と不動産の売却を終了し、事業を休止しております。) |
| (5) 資本金の額 | 6,000 千米ドル(当社 100%出資) |

(6) 設立年月日 平成 16 年 4 月

(7) 最近 3 年間の財政状態及び経営成績

(単位:百万円)

決算期	平成 20 年 12 月期	平成 21 年 12 月期	平成 22 年 12 月期
売上高	139	2	-
営業利益	△184	△61	△22
経常利益	△375	△37	△110
当期純利益	△375	△281	△209
純資産	△286	△572	6
総資産	764	418	6

平成 23 年 3 月末における当社と岡本光学科技(蘇州)有限公司の役員の兼務は 3 名です。

4. 異動の日程

平成 23 年 9 月 30 日 取締役会決議、持分譲渡契約締結及び中国政府関係当局の批准

5. 連結範囲からの除外と今後の見通し

当該譲渡により岡本光学科技(蘇州)有限公司は、当社の連結範囲から除外されることとなりました。したがって、今後は、岡本光学科技(蘇州)有限公司の休止による損失は発生いたしません。

6. 子会社持分の譲渡の相手先の概要

(1) 商号 晶光国際有限公司

(2) 董事長 談詠雯

(3) 所在地 香港

(4) 当社との関係 資本関係、人的関係、取引関係いずれもございません。

なお、岡本光学科技(蘇州)有限公司はすでに事業を休止しており、継承される資産もほとんど無いため、譲渡の相手先の事業内容等の記載は省略いたします。

7. 譲渡出資持分、譲渡価額及び譲渡前後の出資持分の状況

(1) 異動前の出資持分 100.0%

(2) 譲渡出資持分 100.0%

(3) 譲渡価額 1 百万円

(4) 異動後の出資持分 0.0%

(5) 譲渡価額の算定根拠

岡本光学科技(蘇州)有限公司は、現在、資産をほとんど有していないこと及び譲渡に替えて清算手続きを選択した場合は、法務費用等が増えることなどを踏まえた上で、相手先との交渉を通じて譲渡価額を決定いたしました。

II. 特別利益の発生

連結決算手続きにおいて、在外連結子会社の財務諸表は、資産及び負債の項目については、直近決算期末の為替レートにより、株主資本の項目については発生時レートによりそれぞれ円換算しているため、そこで発生する差額を「純資産の部」の「その他の包括利益累計額」に「為替換算調整

勘定」として計上しております。

今般の持分譲渡により岡本光学科技(蘇州)有限公司が連結の範囲から除外されたため、第2四半期連結累計期間において「為替換算調整勘定」を取り崩すことにより特別利益として「為替換算調整勘定取崩益」が発生いたします。

当該、特別利益の金額は、連結決算手続きによって確定されますが、平成23年6月末における同社に係る為替換算調整勘定の残高は267百万円であり、同額程度の特別利益が発生すると見込んでおります。

なお、為替換算調整勘定取崩益は、実質的には、連結貸借対照表の「純資産の部」における振替処理であり、この特別利益の計上は、連結貸借対照表の純資産の部の金額に影響ありません。

III. 業績予想の修正

1. 平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	3,091	121	107	245	15.37
今回修正予想(B)	3,091	121	107	512	32.12
増減額(B-A)	0	0	0	267	-
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	109.0	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	3,388	600	495	446	28.03

修正の理由

岡本光学科技(蘇州)有限公司の持分譲渡にともなう為替換算調整勘定取崩益の計上によります。今のところ、業況は、おおむね計画通りであり、売上高、営業利益及び経常利益の予想は据え置いております。

2. 平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想(A)	7,000	420	441	567	35.37
今回修正予想(B)	7,000	420	441	834	52.32
増減額(B-A)	0	0	0	267	-
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	47.1	-
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	6,369	865	794	723	45.36

修正の理由

岡本光学科技(蘇州)有限公司の持分譲渡にともなう為替換算調整勘定取崩益の計上によります。今のところ、業況は、おおむね計画通りであり、売上高、営業利益及び経常利益の予想は据え置いております。

以上